

令和5年度 大造り物展示場所

五穀豊穰願いを込めて、練り歩く大造り物

江戸中期から約260年の歴史を持つ八朔祭。八朔(旧暦8月1日)の日に始まり、五穀豊穰・豊作祈願の祭りとして、代々受け継がれてきました。現在では毎年9月第1土曜日・日曜日に行われます。祭りのはじまりは、商家の人たちが農家の人をねぎらい、手厚いおもてなしを行ったことから伝わります。八朔祭のためにつくる「大造り物」は、竹、杉、すすき、松かさ等の自然の材料を使い、各連合組が技術を競い合いながら作り上げます。何基もの大造り物が八朔囃子とともに町内を引き廻される様は圧巻です。



① 大川町・下大川連合組
※ 疫病退治 鍾馗 (オニクロン)



④ 矢部高校
※ 51年ぶりに熊本で！ 学校農業クラブ 全国大会 開催!!



⑧ 水道町・城見町・新町上連合組
※ 国宝 あっぱれ 大空武左衛門 歓喜の土俵入り



② 山都町役場
※ 九州中央自動車道山都通潤橋 IC開通、通潤橋国宝指定でうれしかモン!



⑥ 新町中連合組
※ 止まらぬオニ(鬼)の値上げ いざ断ち(太刀)切らん



⑨ 浦川連合組
※ 祝国宝 阿吽の呼吸で 宝を守ろう!



全行程…ゆっくり歩いて90分程度

※各大造り物展示所には駐車場が無い場所があります。ご注意ください。

大造り物展示場所配置図(チラシ)は、「道の駅 通潤橋」「山都町役場」「やまと文化の森」に置いています。また、イベントや貸し出し等により造り物の展示場所が変わることがありますのであらかじめご了承ください。

お問い合わせ:山都町役場 商工観光課
TEL:0967-72-1115

【通潤橋】2023年6月23日「国宝」指定答申
架橋から約170年、いまなお現役。当時水不足に悩んでいた民衆を救うため、江戸時代、総庄屋であった「布田保之助(ふたやすのすけ)」が、1854年に「肥後の石工」たちの持つ技術を用いて建設した石橋。長さ78.0m、高さは21.3mと日本最大級の石造りアーチ水路橋です。橋の上部に連通管の原理を応用した3本の石の通水管が敷設され、今でも周辺の田畑を潤しています。



③ 下馬尾連合組
※ ジャンプマン



④ 仲町下連合組
※ シビシタ WBC



⑤ 仲町上連合組
※ タイガ〜よかよか 祝国宝 通潤橋 おめでとう



⑦ 下市連合組
※ 先人に感謝 国宝だ象!!

銅

銀

金